

平成 29 年度入学試験問題(前期)

国 語

【注 意 事 項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの3問題が印刷されていて、合計12ページある。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配布している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分にかえる。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配布された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配布された問題冊子は、持ち帰ること。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(注)

- アノミー——社会規範や価値体系が崩れ、社会が混沌とした状態に陥っていること。
- 言説——特定の社会的・文化的な集団や諸関係と結びついた言語表現。
- エトス——ある民族・社会・文化などに特有の気風・精神・習慣・風俗。

(周東美材『童謡の近代』しゅうとうよしき)

問(一) 傍線あくおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 要 い 瓦解 う 包摂 え 晒されて お 偏重

問(二) 傍線カゝコのカタカナを漢字に直しなさい。

カ スイタイ キ ドチャク ク カツボウ ケ タクされる コ マギレ

問(三) 空欄 a s e に入る最も適当な語を次より選び、それぞれ記号で答えなさい(それぞれの記号は一度しか使わない)。

ア たとえば イ つまり ウ むしろ エ ただし オ または カ そもそも

問(四) 「子ども」という存在に関する、次の問いに答えなさい。

(i) 近代以前において、子どもはどのような存在と見なされていたか。具体的に示す語句を、本文中から十一字で抜き出して答えなさい。

(ii) 傍線「子ども」という聖なる存在とあるが、どのような存在か。三十字以内でわかりやすく説明しなさい。

問(五) 空欄 X に入る最も適当な語句を選択肢より選び、記号で答えなさい。

ア 書齋 イ 台所 ウ 子ども部屋 エ 茶の間 オ 寝室

問(六) 傍線2「そのとき誕生したのが、童謡だったのである」について、筆者は「童謡」がどのような役割を担ったと考えているか。最も適当なものを選択肢より選び、記号で答えなさい。

ア レコード産業を通して人々に受け入れられ、趣味性の高い家族生活という理想を広める役割。

イ 子どもばかりでなく家族全員に共有され、失った故郷を懐かしむ思いを大人にもたらす役割。

ウ 家庭で共有される音楽として、家族の情緒的な結び付きを生み出して一家団欒を実現させる役割。

エ 洋行経験のある音楽家や知識人から、非音楽的で遅れた日本の幼稚な音楽として批判される役割。

オ 一九一〇年代から音楽雑誌のなかで流行し、音楽のある家庭という理想を人々に共有させる役割。

問(七) 空欄 Y に入る適当な語句を、本文中から八字で抜き出して答えなさい。

問(八) 空欄 Z に入る最も適当な四字熟語を選択肢より選び、記号で答えなさい。

ア 傍若無人 イ 前途洋々 ウ 天真爛漫 エ 発展途上 オ 大器晩成

問(九) 傍線3「母性愛を神話化してきた」とあるが、どのようなことか。七十字以内でわかりやすく説明しなさい。

問(十) 傍線4「無垢と消費とは、共犯関係にあったのである」とあるが、どのようなことか。「メディア」・「童心」という言葉を必ず用いて、百字以内で説明しなさい。

二 次の記事は『古本説話集』の「曲殿まがりどのの姫君の事」の冒頭部分である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

(注) ○古宮はらの御子―没落して世間から忘れられた老親王の御子。 ○二所―両親。

○服など脱ぎつ―喪が明けて喪服を脱いだ。 ○人に言ひほらされて―他人に甘いことを言われ騙されて。

問(十一) 傍線 A・B について、主語を補って現代語訳しなさい。

問(十二) 二重傍線 a、e の「に」についての説明のうち、正しいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|---------|---|------|
| ア | 完了の助動詞 | イ | 断定の助動詞 | ウ | 格助詞 | エ | 接続助詞 |
| オ | 副助詞の一部 | カ | 副詞の一部 | キ | 形容動詞の一部 | | |

問(十三) 傍線 1「ことに言ふ人のなきままに」とあるが、「ことに言ふ人」とは、どのような人か、十字以内で説明しなさい。

問(十四) 傍線 2「ただ二所して歎き給ふ事よりほかになし」とあるが、両親はなぜ歎くのか、理由を三十字以内で書きなさい。

問(十五) 傍線 3「心細くおぼゆる事限りなし」とあるが、姫君はどのような状況にあつたのか、三十字以内で説明しなさい。

問(十六) 傍線 4「乳母、かくて文たびたび取り伝ふれど」とあるが、乳母はなぜこのようなことをしたのか、理由を四十字以内で説明しなさい。

問(十七) この『古本説話集』と同じジャンルの作品を二つ、漢字で答えなさい。

三 次の記事を読んで、後の問いに答えなさい(設問の都合で本文中の返り点、送り仮名を省略したところがある)。

著作権の関係上、省略します。

(『春秋左氏伝』襄公三十一年)

(注) ○鄭―国名。 ○游―集い交遊すること。 ○郷校―各地方に置かれた学びのための集会所。

○執政―国家の政治を取り仕切る人。ここでは子産の行う政治を指す。 ○然明―人名。名は蔑、字は然明。

○子産―人名。 ○朝夕退―朝や夕べに朝廷の勤務を終えて退出すると、の意。

○損怨―怨みをなくすこと。 ○大決―大きく決壊すること。

問(十八) 二重傍線A・Bについて、読み方をそれぞれ平仮名で書きなさい。

問(十九) 傍線1が指し示す内容について、二十五字以内で説明しなさい。

問(二十) 傍線2は、「威ヲ作シテ以テ怨ミヲ防グヲ聞カズ。」と読む。この読みに従って、返り点をつけなさい(送り仮名は不要)。

問(二十一) 傍線3について、子産は人民をどのように扱うべきだと述べているのか。「大決」と「小決」との対比内容を明らかにしながら、本文に即して説明しなさい。

問(二十二) 波線I・IIが示す人物は誰か、文中からそれぞれ漢字二字で抜き出しなさい。

問(二十三) 傍線4について、この人物の言行を記した書物の名を漢字で書きなさい。